

2021年(令和3年)

日刊建設工業新聞

6月16日(水)
第20161号

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigo@decn.co.jp

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 https://www.decn.co.jp/ ©日刊建設工業新聞社 2021

施工式足場
軽量版



橋梁耐震対策で採用

JFEテクノス（横浜市鶴見区、吉田誠太郎社長）は、日綜産業（東京都中央区、小野大社長）の先行床施工式フロア型シ

JFEテクノス

ステムつり足場の軽量版「クイックデッキライト」を、静岡県島田市川根町の橋梁耐震対策工事に採用、施工の効率化や安全対策に役立てている（写真）。

12月23日。クイックデッキライトは、先行床による安全性や無段差、無隙間による快適な作業空間といつた従来版の強みを生かしつつ、約35%軽量化した新バージョン。積載能力は1平方㍍当た

線橋梁耐震対策工事（石上橋上部工補強工）」の現場で採用した。1972年に完成した石上橋（鋼4径間単純H形鋼桁橋、橋長約84㍍、幅員6・5㍍）の橋座拡幅工、水平力分担構造設置工、落橋防止構造設置工などを実行する。9日から足場組み立てに入っている。工期は6月7日

に入っている。工期は6月7日

り200キロ。

JFEテクノスが同製品を採用したのは初めて。1次下請の

KAMIYA（静岡県袋井市、神谷隆司社長）から提案を受け、導入を決めた。KAMIYAの100%子会社であるセフティ

ファーストがクイックデッキライトを保有している。

現場代理人を務めるJFEテクノスの大塚秀一氏は「部材が軽く足場組み立てが効率的に行える。チェーンのつり方も自由度が高く、施工への干渉を抑える」と導入のメリットを話した。

施工効率化や安全対策に貢献